学校番号	120

令和5年度　　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	2	年次	3年次
使用教科書	「精選古典B　新版」（東京書籍）						
副教材等	①「ビジュアルカラー国語便覧　改訂版」（大修館書店）　②「イラストとシーンでおぼえる　Look＠古文単語337」（京都書房） ③「読解をたいせつにする　要点プラス　体系古典文法」（数研出版）　④「〔改訂版〕読み・解き・覚える 日本文学史必携」（第一学習社） ⑤「即戦ゼミ入試頻出 新国語問題総演習 改定版」（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では引き続き、古文の物語や随筆、和歌、さらに漢文・漢詩といった様々な種類の文章や韻文を扱います。それらを、２年次の「古典B」で身につけた知識や語彙力を活かして、より深く読み込み、味わうことで自分自身の感性をさらに豊かなものにしてほしいと考えています。２年次に身につけた古文単語や古典文法、また書き下す力を駆使して、自分で古典文学に触れ、様々な時代の考え方、感じ方を学びます。自分自身で読解し作品の深みを味わうことができたときには、まるで時を超えて古の人が語りかけてくれているような、何ににも代えがたい感動があります。また、そのように作品を通して感じ取ったり学び取ったことを他者と話し合って、改めて共感したり考えたりすることで、深みのある伝統文化の愉しさに触れることができることでしょう。

2　学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察（授業や課題への取り組み） ・記述の点検（ノート、ワークシート等）			・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	e	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	日記1 評論2	『紫式部日記』	○			◎	○	a:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけようとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
		『無名草子』	○			◎	○	a:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけようとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	漢文　史話	「竭股肱之力」	○			○	◎	a:漢文を理解するのに必要なルールを知識として身につけようとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色、句法に注意して読んでいる。 e:文章を理解するのに必要な語句や訓読のルールを知識として身につけている。	a:行動の観察 d:記述の点検 定期考査 e:定期考査

2	物語2	『源氏物語』	○			○	◎	a:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけようとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	評論1	古今和歌集仮名序	○			◎	○	a:仮名序の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 d:作者の論を理解しようとし、内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:理解するのに必要な六歌仙や古典文法の知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	俳諧	芭蕉・蕪村	○			◎	○	a:作品理解に役立てる為の古典文法や俳諧の知識を身につけようと している。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	思想1	「儒家と道家」	○			◎	○	a:文章を理解するのに必要な訓読のルールを知識として身につけようとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:文章を理解するのに必要な語句や訓読のルールを知識として身につけている。	a：行動の観察 記述の点検 d：定期考査 e：定期考査
3	物語4	落窪物語	○			◎	○	a:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけようとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力 e:知識・理解
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。